

# 人々と地球のために、私たちの未来を共創しよう



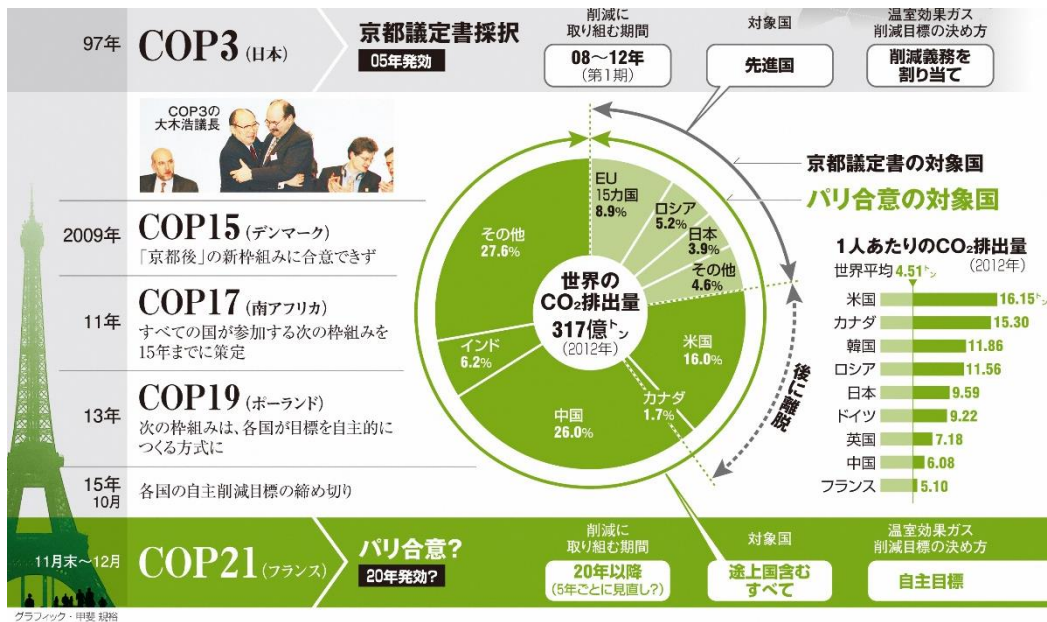
持続可能な開発目標

国連開発目標 (SDGs)

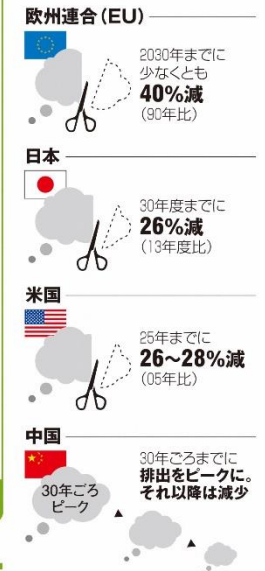


(c)UN

温暖化回避



主要国の自主削減目標は？



(c)朝日新聞社

平和・軍縮

人間の安全保障は、国内の民主主義政治と、憲法に保障される人権と福祉が第1条件です。国家間の平和・友好関係を推進することは第2の条件です。国連や欧州連合、アフリカ連合、アセアンなどの地域機構の役割強化と日中韓3国の協力推進にも期待されています。

内乱や地域紛争で一旦平和が崩れると、開発や環境保全のために築き上げてきた長年の成果は失われ、回復は困難だけでなく、海面上昇や気候変動のように取り返しのつかない事態につながります。

持続可能な開発と温暖化回避の目標は合意されても、その達成のための人的、財政的資源、技術や良きマネージメント育成の見通しは殆ど立っていないのが現実です。ストックホルムの国際平和研究所によれば、冷戦後しばらく減少した世界の軍事費は、今や冷戦のピーク時の2倍約215兆円を超えています。

2014年ノーベル平和賞受賞者マララ・ユスフザイさんは、「無人機ではテロの思想を殺すことは出来ません。世界の軍事費の8日分で世界中の子供への初中等教育1年分になる」と指摘しています。

歴史は与えられるものではありません。市民社会、企業、政府、自治体が国内で、また国境を越えて協働すれば、私達みんなが欲する未来を創ることができるのです。